

令和7年3月定例会

提案説明（2月21日提出分・当初予算）

令和7年2月21日提出、令和7年度当初予算案につきまして、提出議案に沿った形で説明します。

2月21日付で市ホームページに掲載しています令和7年3月定例会関連資料、「提案説明資料」により説明します。

1 ページ目「市議案第8号 令和7年度豊中市一般会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ2千75億909万4千円と定めるものです。

第2条 継続費、第3条 債務負担行為、第4条 地方債については、後ほど第2表から第4表を用いて説明します。

第5条 一時借入金は、借入れの最高額を250億円と定めるものです。

3 ページ目、第1表 歳入歳出予算です。
内容については、8 ページ目、歳入歳出目別一覧で説明します。

歳入歳出目別一覧表は、各会計の歳入歳出を、款・項・目の順番で令和7年度当初予算額・令和6年度当初予算額を比較した表であり、左に、各会計・歳入・歳出ごとに、通しの行番号を記載しています。
この通しの行番号 何行目という呼び方で説明します。

まず歳入です。

9 ページ1 行目の市税の予算額は、760億2千649万6千円、前年度当初予算比5.4%の増を見込んでいます。

個別の税目で説明しますと、2 行目の市民税については、

3行目 個人市民税が 33億6千963万3千円の増で、一時的な措置として実施された定額減税により減少したものの復元及び所得の伸び等を見込んだものです。

4行目 法人市民税が 6千679万9千円の減で、令和5年度と令和6年度の決算見込を比較した際に伸び率が下がっていることから減少することを見込んだものです。

市民税全体で前年度比9.4%、33億283万4千円の増を見込んでいます。

10ページ、19行目の地方譲与税は、予算額21億3千500万円、前年度比10.8%の減、主に22行目の航空機燃料譲与税の減を見込んでいます。

11ページ、28行目からの各種交付金については、それぞれ令和6年度の決算見込みや国の地方財政計画などをふまえ、予算額を見込んでいます。

34行目の株式等譲渡所得割交付金は、予算額11億円で、前年度比83.3%の増を見込んでいます。

37行目の法人事業税交付金は予算額13億円で、前年度比36.8%の増を見込んでいます。

次に、12ページ40行目の地方消費税交付金は、予算額107億円で、前年度比15.1%の増を見込んでいます。

49行目の地方特例交付金は、予算額3億1千万円、前年度比86.4%の減で、所得税・個人住民税の定額減税に伴う税収減を補填する地方特例交付金の減によるものの。

次に、13ページ54行目の地方交付税は、予算額140億円で、

その内訳は、普通交付税が１３４億円、特別交付税が６億円です。
普通交付税は、児童相談所の設置や給与改定等による基準財政需要額の増加や、臨時財政対策債の発行額がないことに伴う交付基準額の増加を見込み、地方交付税総額は前年度比２０．７％の増を見込んでいます。

６０行目の分担金及び負担金は、
予算額１９億８０１万８千円、前年度比２２．５％の増で、
主に、服部天神駅周辺地区整備に伴う公共施設管理者負担金によるものです。

次に、１４ページ６７行目の使用料及び手数料は、
予算額２２億２千４０８万３千円、前年度比５．１％の増で
主に、土木使用料のうち道路橋梁使用料の増によるものです。

次に、１５ページ８４行目の国庫支出金は、予算額５１１億８千７
２８万９千円、前年度比２３．０％の増です。

うち、８５行目の国庫負担金は、
予算額４１８億５千４０万４千円、前年度比１８．２％の増で、
主に、児童手当の制度改正の通年化による増や、私立認定こども園等
への給付費の増によるものです。

次に、９０行目の国庫補助金は、予算額９０億９千７５２万１千円、
前年度比４８．２％の増で、
主に、定額減税補足給付金給付事業費の増によるものです。

１６ページ１０５行目の府支出金は、
予算額１５１億１千９３４万６千円、前年度比６．３％の増、
うち１０６行目の府負担金は、予算額１１１億９千２９６万９千円、
前年度比６．２％の増で、
国庫負担金と同様に、主に私立認定こども園等への給付費の増によ

るものです。

次に、１７ページ１２１行目の府委託金は、
予算額９億４千８６８万２千円、
前年度比３９．３％の増で、
主に、国勢調査に係る府委託金の増によるものです。

次に、１２７行目の財産収入は、
予算額５億１千６３１万３千円、前年度比１０．５％の減で、主に、
不動産売払収入の減によるものです。

次に、１８ページ１３４行目の寄附金は、予算額５億７千２７９万
円、前年度比５．２％の増で、主に、企業版ふるさと納税による寄付
額の増を見込んでいます。

次に、１９ページ１４３行目の繰入金は、
予算額９７億１千３５４万４千円、前年度比１２．３％の増で、主に、
公共施設等整備基金からの繰り入れが増加したことによるものです。

次に、２０ページ１６３行目の諸収入は、
予算額３６億１千７２１万４千円、前年度比１７．６％の減です。

２２ページ１８４行目の市債は、予算額１５５億９００万円、前年
度比４７．０％の増で、主に庄内よつば学園整備事業による市債の増
です。

以上、１９３行目、一般会計の歳入合計は、
予算額２千７５億９０９万４千円、前年度比１２．５％の増です。

次に、歳出です。

２４ページ１行目の議会費は、予算額７億２千５０万７千円、
前年度比８．６％の増です。

次に、４行目の総務費は、予算額１９０億８千５５万４千円、前年度比０．２％の増です。

そのうち５行目の総務管理費は、予算額１５９億６千３８５万７千円、前年度比３．４％の減で、２６ページ３８行目、庄内体育館整備事業及び豊中ローズ球場整備事業の事業完了による体育施設整備費の減が主な理由です。

次に、２７ページ４８行目の選挙費は、予算額２億７千６６６万円１千円、前年度比、２２２．５％の増で参議院議員選挙事務等にかかるものです。

次に、５４行目の統計調査費は、予算額３億２千８１３万円、前年度比、６９３．９％の増で国勢調査事務にかかるものです。

次に、２８ページ５９行目の民生費は、予算額１千８１億３千８６３万８千円、前年度比８．２％の増です。

うち、６０行目の社会福祉費は、予算額２１８億１千７８７万６千円、前年度比３．９％の増で、主に、６３行目 障害者福祉費の増によるもので、主に障害福祉サービス利用の増に伴う支給額の増が主な要因です。

次に、２９ページ７５行目の児童福祉費は、予算額４９３億２千２６０万９千円、前年度比１６．６％の増で、主に、７７行目 児童福祉費の増によるもので、児童手当の制度変更の通年化によるものです。

次に、３０ページ９１行目の生活保護費は、予算額１９５億６千６６５万円、前年度比２．１％の増です。

９９行目の国民健康保険事業費は、
予算額３８億９千４０８万１千円、前年度比１５．１％の減で、
国民健康保険事業特別会計繰出金の減少によるものです。

３１ページ１０３行目の後期高齢者医療事業費は、
予算額６５億８千６０８万１千円、前年度比４．８％の増で、
後期高齢者医療広域連合への負担金の増加によるものです。

次に、１０６行目の衛生費は、
予算額１３９億２千８４６万６千円、前年度比４．７％の増です。

うち、１０７行目の保健衛生費は
予算額８８億４千９３万４千円、前年度比５．３％の増で、
令和７年度からの高齢者に係る带状疱疹の予防接種の実施による
ものです。

次に、３２ページ１２５行目の清掃費は、予算額５０億８千７５３
万２千円、
前年度比３．６％の増で、主に、３３ページ１３１行目のクリーンラ
ンド負担金が増加したことによるものです。

次に、３３ページ１３２行目の労働費は、
予算額２億８千７２２万４千円、前年度比１４．０％の増で、主に、
１３５行目の雇用対策費が増加したことによるものです。

次に、１３６行目の農林水産業費は、予算額６千３６９万８千円、
前年度比２０．２％の増です。

次に、１４０行目の商工費は、予算額５億３千２５２万円、
前年度比１．３％の減で、主に、１４３行目 商工業振興費の減によ
るものです。

次に、３４ページ１４６行目の土木費は、
予算額１４６億８千２０１万２千円、前年度比２１．７％の増です。

内訳について、１４７行目の土木管理費は、
予算額７億２千９５１万円、前年度比５２．０％の増で、主に、公共
用地先行取得事業特別会計への繰出金の増によるものです。

１５３行目の道路橋梁費は、予算額４０億５千７６７万９千円、
前年度比８．０％の増で、１５９行目の交通安全施設整備費、道路照
明 LED 更新事業が主な理由です。

次に、３５ページ１６３行目の下水道費は、
予算額３１億５千１７４万４千円、前年度比２．９％の増で、
公共下水道事業会計への繰出金の増によるものです。

１６５行目の都市計画費は、予算額４１億４千６７０万円、
前年度比４１．５％の増で、主に、１７１行目、街路事業費、服部天
神駅前広場整備事業の増によるものです。

次に、１７４行目の住宅費は、予算額１６億３９１万９千円、
前年度比８６．４％の増で、主に、３６ページ１７７行目、住宅整備
費、市営西谷住宅整備事業の増によるものです。

次に、１７８行目の消防費は、予算額６２億３千６４８万９千円、
前年度比１．６％の減で、主に、１８０行目の常備消防費において、
５市での消防指令業務共同運用にかかる消防指令システム構築費用
の減によるものです。

次に、１８７行目の教育費は、
予算額３２９億６千１８６万１千円、前年度比４９．７％の増です。

うち188行目の教育総務費は、
予算額101億1千705万7千円、前年度比53.0%の増で、
37ページ197行目の小中一貫校整備費、庄内よつば学園整備事業の増が主な理由です。

198行目の小学校費は、予算額124億5千101万2千円、
前年度比65.0%の増で、
主に、203行目の小学校施設整備費、小学校の屋内運動場への空調設備の整備費の増によるものです。

204行目の中学校費は、予算額64億1千626万5千円、
前年度比56.6%の増で、
主に、38ページ209行目の中学校施設整備費、中学校の屋内運動場への空調設備の整備費の増によるものです。

次に、210行目の社会教育費は、予算額39億7千752万7千円、
前年度比5.8%の増で、主に、211行目の社会教育総務費、
放課後こどもクラブの運営委託に係る経費などの増によるものです。

次に、39ページ223行目の公債費は、
予算額99億2千153万8千円、前年度比6.6%の増です。

227行目の諸支出金は、予算額9億558万7千円、
前年度比5.0%の増で、主に、228行目の財政調整基金積立金の増です。

次に、232行目の予備費は、予算額5千万円、
前年度と同額を計上しています。

以上、歳出合計は、先ほどの歳入合計と同額です。

4 1 ページ目、第 2 表 継続費です。
私立認定こども園等整備事業の継続費について、経費の総額及び年割額を定めるもので、
総額は 4 5 億 2 千 9 1 6 万 8 千円
年割額については、
令和 7 年度分を、1 2 億 8 千 1 5 3 万円
令和 8 年度分を、1 3 億 3 千 6 6 1 万 8 千円
令和 9 年度分を、1 1 億 6 千 4 2 7 万 8 千円
令和 1 0 年度分を、7 億 4 千 6 7 4 万 2 千円
と設定するものでございます。

4 2 ページ目、第 3 表 債務負担行為です。
1 段目、豊中市私立高等学校入学支度金貸付に対する損失補償以下、
4 3 ページにかけ、期間と限度額をそれぞれ定めています。

4 4 ページ目、第 4 表 地方債です。
起債を行う事業等の起債限度額および償還の方法等について定める
ものです。

3 段目の人権平和センター事業、4 段目の公立こども園事業、6 段目の水道事業、4 5 ページ 7 段目の小学校管理事業、9 段目の中学校管理事業以外は、すべて建設事業に係る起債です。

一般会計は以上です。

* * * * *

4 6 ページ目、
「市議案第 9 号 令和 7 年度豊中市国民健康保険事業特別会計予算」
です。
第 1 条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ 3 7 4 億 7 千 2 5 8 万円と定める
ものです。

第2条 一時借入金は、借入れの最高額を20億円と定めるものです。

予算の内訳について説明します。

50ページ目、歳入です。

1行目の国民健康保険料は、予算額77億7千989万8千円、前年度比7.1%の減で、主に、被保険者数の減によるものです。

次に、10行目の府支出金は、予算額257億5千298万1千円、前年度比8.9%の減、

51ページ14行目の繰入金は、予算額38億9千408万1千円、前年度比15.1%の減、

以上、52ページ、歳入合計は、予算額374億7千258万円、前年度比9.2%の減です。

54ページ目、歳出です。

1行目の総務費は、予算額9億7千138万4千円、前年度比4.7%の増で、主に事務費の増によるものです。

56ページ29行目の国民健康保険事業費納付金は、予算額110億7千47万4千円、前年度比10.1%の減で、主に医療給付費分の減によるものです。

以上、57ページ目、歳出合計は歳入合計と同額です。

国民健康保険事業特別会計は以上です。

* * * * *

59 ページ

「市議案第10号 令和7年度豊中市後期高齢者医療事業特別会計予算」です。

第1条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ87億6千96万8千円と定める
ものです。

予算の内訳について説明します。

62 ページ、歳入です。

1行目の後期高齢者医療保険料は、
予算額69億1千683万7千円、前年度比3.4%の増で、
主に国民健康保険事業等からの被保険者の移行による増です。

次に、8行目の繰入金は、予算額15億1千408万円、
前年度比4.1%の増です。

以上、63 ページ、歳入合計は、
予算額87億6千96万8千円、前年度比3.9%の増です。

66 ページ、歳出です。

6行目の後期高齢者医療広域連合納付金は、
予算額85億6千805万5千円、前年度比3.7%の増で、
歳入の保険料収入と一般会計からの保険基盤安定繰入金等を合算し
て広域連合に納付するものです。

以上、67 ページ、歳出合計は歳入合計と同額です。

後期高齢者医療事業特別会計は以上です。

* * * * *

68 ページ

「市議案第11号 令和7年度豊中市介護保険事業特別会計予算」
です。

第1条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ439億9千2万6千円
と定めるものです。

第2条 債務負担行為については、後ほど第2表を用いて説明しま
す。

予算の内訳について説明します。

72 ページ、歳入です。

1行目の保険料は、予算額85億7千416万4千円、
前年度比3.3%の増で、主に、高齢化に伴う介護サービス利用の増
及び報酬改定に伴うサービス費の増によるものです。

次に、7行目の国庫支出金は、
予算額107億1千414万4千円、前年度比4.2%の増です。

次に、74 ページ、30行目の繰入金は、
予算額74億3千157万円、前年度比4.9%の増です。

以上、76 ページ目、歳入合計は、
予算額439億9千2万6千円、前年度比3.9%の増です。

78 ページ、歳出です。

11行目の保険給付費は、予算額412億3千456万8千円、
前年度比3.9%の増で、主に、高齢化に伴う介護サービス利用の増
によるものです。

以上、８３ページ、歳出合計は歳入合計と同額です。

８４ページ、第２表 債務負担行為です。

第１０期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定にかかる高齢者アンケート調査・計画策定支援業務ほかについて、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めています。

介護保険事業特別会計は以上です。

* * * * *

８５ページ

「市議案第１２号

令和７年度豊中市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算」です。

第１条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ９千２０２万１千円と定めるものです。

予算の内訳について説明します。

８８ページ、歳入です。

９行目の母子父子寡婦福祉資金貸付金元利収入は、
予算額３千１４１万８千円、前年度と同額を計上しています。

以上、８９ページ、歳入合計は、
予算額９千２０２万１千円、前年度比１２．８％の減です。

９１ページ目、歳出です。

１行目の母子父子寡婦福祉資金貸付事業費は、
予算額２千５０５万９千円で、前年比０．１％の増です。

次に、５行目の公債費は、予算額４千５９５万１千円、

前年度比 16.8%の減で、剰余金の一部を国に返還するものです。

以上、歳出合計は歳入合計と同額です。

母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計は以上です。

* * * * *

93 ページ

「市議案第 13 号

令和 7 年度豊中市公共用地先行取得事業特別会計予算」です。

第 1 条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ 15 億 4 千 1 6 6 万 4 千円と定める
ものです。

第 2 条 地方債については、後ほど第 2 表を用いて説明します。

予算の内訳について説明します。

96 ページ、歳入です。

4 行目の繰入金は、予算額 8 億 4 千 2 9 4 万 2 千円、
前年度比 59.7%の増で、主に、服部天神駅周辺地区整備に係る起
債の償還を行うため一般会計から繰り入れるものです。

次に、9 行目の市債は、予算額 1 億 4 千 9 7 0 万円、
前年度比 73.4%の減で、公共用地先行取得事業の財源とするもの
です。

以上、歳入合計は、予算額 15 億 4 千 1 6 6 万 4 千円、
前年度比 6.6%の増です。

99 ページ、歳出です。

1 行目の公共用地先行取得費は、
予算額 1 億 6 千 9 6 万 6 千円、前年度比 7 2. 2 % の減で、
主に、服部天神駅周辺地区沿道整備街路事業完了によるものです。

次に、8 行目の諸支出金は、予算額 9 億 6 8 3 万 1 千円、
前年度比 5 2. 5 % の増で、一般会計による買戻しに伴う繰出金及び
減債基金への積み立てによるものです。

以上、1 0 0 ページの歳出合計は歳入合計と同額です。

1 0 1 ページ、第 2 表 地方債です。

公共用地先行取得事業の起債限度額を 1 億 4 千 9 7 0 万円に設定
するとともに、償還の方法等について定めるものです。

公共用地先行取得事業特別会計は以上です。

* * * * *

1 0 2 ページ

「市議案第 1 4 号 令和 7 年度豊中市財産区特別会計予算」です。

第 1 条 歳入歳出予算については、
予算の総額を歳入歳出それぞれ 2 億 2 千 8 3 万円と定めるものです。

予算の内訳について説明します。

1 0 5 ページ 4 行目の財産収入は、予算額 2 千 3 5 2 万 9 千円、
前年度比 9 2. 8 % の減で、
主に、大字内田財産区の財産売払収入の減によるものでございます。

以上、1 0 6 ページ、歳入合計は、予算額 2 億 2 千 8 3 万円、
前年度比 5 4. 0 % の減です。

108ページ、歳出です。

1行目の財産費は、予算額2億2千83万円、前年度比54.0%の減で、主に、大字内田財産区費において、歳入予算で説明した財産売払収入の減に伴い、土地処分金積立が減となるものです。

以上、109ページ、歳出合計は歳入合計と同額です。

財産区特別会計は以上です。

* * * * *

続いて、公営企業会計について説明します。

111ページ

「市議案第15号 令和7年度豊中市病院事業会計予算」です。

第2条 業務の予定量は、患者数47万5千647人の見込みです。

112ページ下段の第5条 債務負担行為は、市立豊中病院医事業務ほかについて、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

113ページ、第6条 企業債については、記載の表のとおり、施設改良事業等に充てるための起債の限度額、償還の方法等について定めるものです。

115ページ、収支について説明します。

まず、収益的収入です。

2行目の病院事業収益は、予算額247億2千860万9千円、前年度比4.6%の増で、主に、3行目医業収益にかかる4行目入院

収益の増によるものです。

116 ページ、収益的支出です。

2 行目、病院事業費用は、予算額 2 4 3 億 2 千 1 9 1 万 6 千円、前年度比 3. 3 % の増で、主に、6 行目の経費の増によるものです。

117 ページ、資本的収入です。

2 行目の資本的収入は、予算額 5 1 億 6 千 7 7 2 万 8 千円、前年度比 1 8 0. 9 % の増で、4 行目、施設改良事業等に充てる企業債の増によるものです。

118 ページ、資本的支出です。

2 行目の資本的支出は、予算額 7 2 億 5 千 7 8 5 万 2 千円、前年度比 1 3 9. 8 % の増で、主に 5 行目の院用備品購入費の増によるものです。

病院事業会計は以上です。

* * * * *

119 ページ

「市議案第 1 6 号 令和 7 年度豊中市水道事業会計予算」です。

第 2 条 業務の予定量は、給水戸数 1 8 万 7 7 8 戸、年間総給水量 4 千 2 2 6 万 1 千 1 5 9 立方メートルの見込みです。

120 ページ下段の第 5 条 債務負担行為は、配水管増補改良事業ほかについて、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

121 ページ、第 6 条 企業債については、記載の表のとおり、配水管増補改良事業等に充てるための、起債の限度額、償還の方法等

を定めるものです。

第7条 一時借入金は、借入れの限度額を10億円と定めるものです。

123ページ、収支について説明します。

まず、収益的収入です。

2行目の水道事業収益は、予算額88億6千756万9千円、前年度比2.2%の増で、主に4行目の給水収益の増によるものです。

124ページ、収益的支出です。

2行目の水道事業費用は、予算額80億2千376万円、前年度比0.6%の増で、8行目の総係費等の増によるものです。

126ページ、資本的収入です。

2行目の資本的収入は、予算額34億5千494万5千円、前年度比40.6%の増で、主に、3行目の企業債の増によるものです。

127ページ、資本的支出です。

2行目の資本的支出は、予算額57億6千858万9千円、前年度比22.1%の増で、主に6行目の施設整備事業費の増によるものです。

水道事業会計は以上です。

* * * * *

128ページ

「市議案第17号 令和7年度豊中市公共下水道事業会計予算」です。

第2条 業務の予定量は、処理可能区域戸数18万771戸、年間総処理水量6千805万6千997立方メートルの見込みです。

129ページ下段の第5条 債務負担行為は、管渠築造事業ほかについて、記載のとおり、期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

130ページ中段の第6条 企業債については、記載の表のとおり、管渠築造事業及び庄内終末処理場建設事業等に充てる起債の限度額、償還の方法等を定めるものです。

131ページの第7条 一時借入金は、借入れの限度額を10億円と定めるものです。

132ページ、収支について説明します。

まず、収益的収入です。

2行目の下水道事業収益は、予算額172億8千911万5千円、前年度比10.3%の増で、6行目の流域下水道原田終末処理場受託管理負担金収入等の増によるものです。

133ページ、収益的支出です。

2行目の下水道事業費用は、予算額166億3千84万9千円、前年度比10.4%の増で、8行目の流域下水道原田終末処理場受託管理費等の増によるものです。

135ページ、資本的収入です。

2行目の資本的収入は、予算額39億3千754万3千円、前年度比34.0%の増で、主に4行目の国庫補助金の増によるものです。

136 ページ、資本的支出です。

2 行目の資本的支出は、予算額 77 億 4 千 183 万 7 千円、前年度比 24.3% の増で、主に 4 行目の管渠築造費の増によるものです。

公共下水道事業会計は以上です。

* * * * *

以上、議案に沿って 10 の会計の当初予算案の説明となります。